



2024年5月15日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード番号：8783 スタンダード)
問い合わせ 経営企画部長 高士 隼人
(TEL. 03-6432-9140)

**連結業績における営業損失及び特別損失の計上並びに
連結業績の当期予想値との差異に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）における連結業績と当期予想値との差異に関するお知らせ並びに営業損失及び特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業損失の計上

当社は2023年7月24日付「訴訟提起に関するお知らせ」において開示のとおり、当社が取得した債権に関して、株式会社サクシードに対する訴訟の提起を行っております。当該債権については、訴訟に至ることとなったことから解決するまでに長期化は避けられないと判断し、貸倒引当金繰入として58百万円を追加で計上しております。

また当社は、過年度より投融資事業において様々な事業会社等への営業貸付を行っておりますが、2024年3月期において、過年度の貸付実績に基づいて営業貸付金債権全体を評価し、貸倒引当金として107百万円を計上しております。

その他、回収の可能性が低下したと判断した債権についても個別に貸倒引当金として76百万円の計上をしております。

なお、個別に回収可能性が著しく低いと判断したものについては長期滞留債権として評価しております。

2. 特別損失の計上

当社完全子会社である株式会社CAMELOTが行うメタバース空間「META CAMELOT」のリニューアルにかかるソフトウェアと、建物附属設備及び敷金を減損対象資産とし、特別損失として47百万円の計上をいたしました。

また当社は、2023年4月17日付「（開示事項の経過）株式会社ヴィエリスからの一部事業譲受及び新たな事業の開始に関するお知らせ」にて既報のとおり、「キレイモ」店舗の一部店舗をフランチャイズチェーンライセンス契約に基づき、株式会社M's Plantageに5店舗を運営委託していましたが、委託期間中における当社で立て替えていた運転資金等に関して、株式会社ミュゼプラチナムに当該事業の譲渡をすることになったことから、未収金として99百万円を特別損失として計上しています。

3. 2024年3月期（通期）連結業績と当期予想値との差異

（単位：百万円、円・銭）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
当期予想値(A)	4,169	△1,797	△1,996	△1,880	△27.70
当期実績値(B)	4,174	△2,160	△2,411	△2,470	△42.83
増減額(B-A)	5	△363	△415	△590	-
増減率(%)	0.12	-	-	-	-

※当期予想値は新株予約権の行使による発行済株式数の増加に伴い、1株当たり当期純利益については、2023年12月31日時点の期中平均株式数：53,987,448株により算出しております。当期実績の1株当たり当期純利益は、2024年3月期における期中平均株式数：57,977,151株を用いて計算しております。

4. 差異の理由

今回、当期予想値から実績値における営業利益等が下回った事由としては1及び2に記載の営業損失及び特別損失の計上による影響で、当期における貸倒引当金について長期滞留債権として評価する債権額面が予想よりも増額となったこと、また期初から2023年12月10日までの期間に保有していた美容脱毛サロン事業に関連してフランチャイズ運営委託先である株式会社M's Plantageからの未収金に関する貸倒損失が発生したことも起因しており、業績予想に差異が生じております。

以 上